季　季語　第1回の答え

(一) ウ（秋）	(二) イ（夏）	(三) オ（新年）	(四) エ（冬）	(五) ア（春）
(六) イ（夏）	(七) イ（夏）	(八) ウ（秋）	(九) エ（冬）	(十) エ（冬）
(十一) ウ（秋）	(十二) ア（春）	(十三) ウ（秋）	(十四) ア（春）	(十五) ウ（秋）
(十六) ア（春）	(十七) イ（夏）	(十八) ウ（秋）		

意味の確認

(一)　**盆踊り**（秋）　お盆に、みんなで輪になっておどるおどり。

(二)　**ほたる**（夏）　夏の夜に、おしりを光らせて飛ぶ虫。

(三)　**年賀状**（新年）　新しい年のあいさつを書いて送るはがき。

(四)　**七五三**（冬）　三歳・五歳・七歳の子どもの成長をいわって、神社にお参りする行事。

(五)　**すみれ**（春）　春に、むらさき色の小さな花をさかせる草。

(六)　**せみ**（夏）　夏に木にとまって、大きな声で鳴く虫。

(七)　**こいのぼり**（夏）　五月五日の子どもの日に立てる、こいの形ののぼり。

(八)　**さんま**（秋）　秋においしくなる、細長い銀色の魚。

(九)　**木枯らし**（冬）　冬のはじめに、木の葉をちらす強くて冷たい風。

(十)　**白菜**（冬）　葉がたくさん重なった、冬の鍋に入れる野菜。

季　季語　第1回の答え（つづき）

意味の確認

（十一）　**紅葉**（秋）　秋になって、木の葉が赤や黄色に変わること。その葉。

（十二）　**椿**（春）　赤や白の大きな花をさかせる、つやのある葉の木。

（十三）　**渡り鳥**（秋）　季節によって、遠くの国と行き来する鳥。

（十四）　**春一番**（春）　春のはじめに、はじめてふく強い南風。

（十五）　**朝顔**（秋）　朝にらっぱの形の花をさかせる、つるのある草花。

（十六）　**花の雲**（春）　たくさんの桜の花が、雲のように見えるようす。

（十七）　**ひまわり**（夏）　夏にさく、背が高くて大きな黄色い花。

（十八）　**台風**（秋）　南の海でできて、強い風と雨をもたらすあらし。

季　季語　第2回の答え

(一) ウ（秋）	(二) イ（夏）	(三) ア（春）	(四) エ（冬）	(五) ウ（秋）
(六) ア（春）	(七) エ（冬）	(八) ア（春）	(九) エ（冬）	(十) ア（春）
(十一) ア（春）	(十二) ア（春）	(十三) ア（春）	(十四) エ（冬）	(十五) ウ（秋）
(十六) ウ（秋）	(十七) ウ（秋）	(十八) ウ（秋）		

意味の確認

(一)　**稲妻**（秋）　かみなりのとき、空に走るするどい光。

(二)　**新緑**（夏）　夏のはじめの、木々のあざやかな緑。

(三)　**春雨**（春）　春に、しとしととしずかにふる雨。

(四)　**風邪**（冬）　せきや鼻水が出たり、熱が出たりする病気。

(五)　**赤とんぼ**（秋）　秋によく見かける、体の赤いとんぼ。

(六)　**桜**（春）　春にうすいピンク色の花をさかせる木。

(七)　**つらら**（冬）　屋根などから、ぼうのようにたれ下がった氷。

(八)　**かすみ**（春）　春に、遠くの山などがぼんやりと見えるようす。

(九)　**落ち葉**（冬）　木からちって、地面に落ちた葉っぱ。

(十)　**桃の花**（春）　ひな祭りのころにさく、うすいピンク色の花。

季　季語　第2回の答え（つづき）

意味の確認

（十一）　**つばめ**（春）　春に南の国からやってきて、家の軒下に巣をつくる鳥。

（十二）　**うぐいす**（春）　春に「ホーホケキョ」と鳴く小鳥。

（十三）　**芹**（春）　水べに生える、よいかおりの草。春の七草の一つ。

（十四）　**雪**（冬）　寒い日に、空からふってくる白い氷のつぶ。

（十五）　**西瓜**（秋）　大きくて丸く、中が赤くて水分の多い実。

（十六）　**萩**（秋）　秋に、小さな赤むらさきの花をたくさんつける木。秋の七草の一つ。

（十七）　**こおろぎ**（秋）　秋の夜に、草むらで「コロコロ」と鳴く虫。

（十八）　**秋晴れ**（秋）　秋の、空が高くすみきった晴れの天気。

季　季語　第3回の答え

(一) イ（夏）	(二) イ（夏）	(三) オ（新年）	(四) イ（夏）	(五) エ（冬）
(六) イ（夏）	(七) エ（冬）	(八) エ（冬）	(九) エ（冬）	(十) エ（冬）
(十一) ア（春）	(十二) ウ（秋）	(十三) ウ（秋）	(十四) ア（春）	(十五) エ（冬）
(十六) ア（春）	(十七) イ（夏）	(十八) ウ（秋）		

意味の確認

(一)　**かぶとむし**（夏）　夏の林にいる、オスに大きな角のある虫。

(二)　**浴衣**（夏）　夏に着る、うすい木綿でできた着物。

(三)　**鏡餅**（新年）　お正月にかざる、大小のまるいもちを重ねたもの。

(四)　**夕立**（夏）　夏の夕方に、急にはげしくふって、すぐやむ雨。

(五)　**水仙**（冬）　冬に、よいかおりの白や黄色の花をさかせる草花。

(六)　**海水浴**（夏）　夏に海に行って、泳いだり遊んだりすること。

(七)　**霜**（冬）　寒い朝、地面や草にできる白い氷のつぶ。

(八)　**たき火**（冬）　寒い日に、落ち葉や枝を集めて燃やす火。

(九)　**除夜の鐘**（冬）　大みそかの夜に、お寺でつくかね。

(十)　**手袋**（冬）　寒いときに、手をあたためるためにはめるもの。

季　季語　第3回の答え（つづき）

意味の確認

（十一）　**ひばり**（春）　春に、空高く上がって鳴く小鳥。

（十二）　**コスモス**（秋）　秋に、ピンクや白の花がさき、風にゆれる草花。

（十三）　**菊**（秋）　秋に、よいかおりの黄色や白の花をさかせる草花。

（十四）　**つくし**（春）　春に野原に生える、筆のような形の草。

（十五）　**北風**（冬）　冬に北からふいてくる、冷たい風。

（十六）　**卒業**（春）　学校で学ぶことを終えて、その学校を出ること。

（十七）　**夕焼け**（夏）　夕方、西の空が赤くそまること。

（十八）　**栗**（秋）　とげとげのいがに入った、秋にとれる木の実。

季　季語　第4回の答え

(一) エ（冬）	(二) イ（夏）	(三) ウ（秋）	(四) ア（春）	(五) ウ（秋）
(六) イ（夏）	(七) エ（冬）	(八) オ（新年）	(九) ウ（秋）	(十) エ（冬）
(十一) ウ（秋）	(十二) ア（春）	(十三) イ（夏）	(十四) エ（冬）	(十五) ウ（秋）
(十六) ウ（秋）	(十七) ウ（秋）	(十八) ウ（秋）		

意味の確認

(一)　**千鳥**（冬）　海べや川原にいる、小さな鳥。むれで飛ぶ。

(二)　**夏至**（夏）　一年でいちばん昼が長い日。六月二十一日ごろ。

(三)　**霧**（秋）　小さな水のつぶが、けむりのように地面近くにうかんだもの。

(四)　**山笑う**（春）　春になって、山の木々が芽を出し明るく見えるようす。

(五)　**すすき**（秋）　秋に、ふさふさした穂を出す草。お月見にかざる。

(六)　**かき氷**（夏）　氷を細かくけずって、シロップをかけた食べ物。

(七)　**氷**（冬）　水がひえて、かたくかたまったもの。

(八)　**門松**（新年）　お正月に、家の入り口にかざる松や竹のかざり。

(九)　**彼岸花**（秋）　秋のお彼岸のころにさく、まっ赤な花。

(十)　**小春日和**（冬）　冬のはじめの、春のようにあたたかい晴れた日。

季　季語　第4回の答え（つづき）

意味の確認

（十一） **七夕**（秋） 七月七日に、ささに願い事を書いた短冊をかざる行事。

（十二） **蝶**（春） きれいな羽で、ひらひらと飛ぶ虫。

（十三） **蚊**（夏） 夏に多い、人の血をすって、かゆくさせる小さな虫。

（十四） **日記買う**（冬） 年の終わりに、次の年に使う日記帳を買うこと。

（十五） **柿**（秋） 秋に、だいだい色の実をつける木。その実。

（十六） **鈴虫**（秋） 秋の夜に、「リーンリーン」とすずのような声で鳴く虫。

（十七） **かかし**（秋） 田んぼで、鳥をおどかすために立てる人形。

（十八） **露**（秋） 朝、草の葉につく小さな水のつぶ。

季　季語　第5回の答え

(一) オ（新年）	(二) ウ（秋）	(三) イ（夏）	(四) ア（春）	(五) オ（新年）
(六) ウ（秋）	(七) オ（新年）	(八) ア（春）	(九) オ（新年）	(十) イ（夏）
(十一) ア（春）	(十二) エ（冬）	(十三) エ（冬）	(十四) ウ（秋）	(十五) ア（春）
(十六) オ（新年）	(十七) イ（夏）	(十八) ウ（秋）		

意味の確認

(一)　**元日**（新年）　一年のいちばんはじめの日。一月一日。

(二)　**月**（秋）　夜の空に光る月。俳句では秋の月のこと。

(三)　**入道雲**（夏）　夏に、もくもくと高くもり上がる雲。

(四)　**入学**（春）　新しく学校に入って、その学校の子になること。

(五)　**雑煮**（新年）　お正月に食べる、もちの入った汁物。

(六)　**きりぎりす**（秋）　草むらで「ギーッチョン」と鳴く虫。

(七)　**羽根つき**（新年）　お正月に、羽子板で羽根を打ち合う遊び。

(八)　**ひな祭り**（春）　三月三日に、ひな人形をかざって女の子の成長をいわう行事。

(九)　**初夢**（新年）　新しい年になって、はじめて見るゆめ。

(十)　**風鈴**（夏）　夏に軒下につるす、風にゆれてチリンと鳴る小さなすず。

季　季語　第5回の答え（つづき）

意味の確認

（十一）　**菜の花**（春）　春に畑などにさく、黄色い小さな花。

（十二）　**しぐれ**（冬）　冬のはじめに、ふったりやんだりする冷たい雨。

（十三）　**大晦日**（冬）　一年のいちばん最後の日。十二月三十一日。

（十四）　**稲刈り**（秋）　秋に、実ったイネをかり取ること。

（十五）　**雪どけ**（春）　春になって、つもっていた雪がとけること。

（十六）　**七草がゆ**（新年）　一月七日に、七草を入れて作るおかゆ。

（十七）　**いちご**（夏）　赤くて、あまずっぱい実のなる草。その実。

（十八）　**夜長**（秋）　秋になって、夜が長く感じられること。

季　季語　第6回の答え

(一) ア（春）	(二) ア（春）	(三) オ（新年）	(四) エ（冬）	(五) エ（冬）
(六) イ（夏）	(七) ア（春）	(八) エ（冬）	(九) イ（夏）	(十) エ（冬）
(十一) ア（春）	(十二) オ（新年）	(十三) エ（冬）	(十四) イ（夏）	(十五) イ（夏）

意味の確認

(一)　**花見**（春）　さくらの花をながめて、楽しむこと。

(二)　**おぼろ月**（春）　春の夜に、ぼんやりかすんで見える月。

(三)　**お年玉**（新年）　お正月に、大人が子どもにくれるお金。

(四)　**クリスマス**（冬）　十二月二十五日の、キリストの誕生をいわう日。

(五)　**雪だるま**（冬）　雪の玉を重ねて作った、人形のようなもの。

(六)　**雷**（夏）　空がピカッと光って、ゴロゴロと大きな音がすること。

(七)　**遠足**（春）　学校のみんなで、遠くまで出かける行事。

(八)　**大根**（冬）　白くて太い根を食べる、冬においしい野菜。

(九)　**金魚**（夏）　赤や黒の、見て楽しむために飼う魚。

(十)　**こたつ**（冬）　ふとんをかけた台の中で、足をあたためる道具。

季　季語　第6回の答え（つづき）

意味の確認

（十一） **凧**（春） 風の力で、糸をつけて空高くあげるおもちゃ。

（十二） **書き初め**（新年） 新しい年に、はじめて筆で字を書くこと。

（十三） **山茶花**（冬） 冬のはじめに、白やピンクの花をさかせる木。

（十四） **うちわ**（夏） 手であおいで、すずしい風を送る道具。

（十五） **虹**（夏） 雨のあと、空にあらわれる七色の光の橋。